

## 平成20年度 坂城高等学校 学校評価報告書

学校運営方針：地域と社会に貢献する人材の育成  
豊かな知性と情操を身につけ、地域・社会の有為な構成者となる健全な人格の育成を期する。

NO	重点目標	項目	評価項目	自己評価	評点	評点	学校関係者評価	改善策
1	学習・進路	1-1	わかる授業の実践による基礎学力の定着	授業の内容について生徒から「わかりやすい」「ちょうどよい」という評価を7割以上得た。	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合学習など体験型学習の取り組みは評価できる。</li> <li>教科学習には取り組む姿勢が甘い生徒も見受けられるので意欲を高める指導を期待する。</li> <li>生徒の授業への要望が多い理数系科目の苦手意識が強いと思われるので、工夫を考えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の教科学習への取り組み意欲を高めるような取り組みを深める。</li> <li>体験型学習を充実させ、生徒のコミュニケーション能力を高めしていく。</li> <li>選択科目や習熟度別授業など生徒個々に応じた教育課程を検討する。</li> </ul>
		1-2	将来を見据えた教育課程の構築	現行の教育課程の見直しと改善を実施。生徒個々の希望を生かした科目選択に努めた。				
		1-3	特徴ある総合学習の構築	「3C」を目標にした人間力形成のための総合学習を進めている。				
		1-4	進路指導の充実	2年生全員が夏休みに就業体験を、1年生全員が坂城町内を主に企業見学会を実施した。				
2	落ち着いて生活できる校風づくり	2-1	基本的な生活習慣の確立	学期ごとの遅刻者に対する指導や、全校一斉の服装頭髪指導を年4回実施している。	2.8	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会に送り出すためには「躰」や「マナー」の指導は必須であり、生徒は厳しいと感じている面もあるが、交通ルール・マナーも含め一層の改善を期待する。</li> <li>生徒指導の成果で落ち着いた校風作りはできていると思われるが、生徒が実感できるように取り組んで欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の服装や交通マナーについても生徒に注意喚起を行っていく。</li> <li>家庭でのご指導も重要であるので、保護者にも協力していただくよう連携をはかる。</li> <li>引き続き、授業に集中して取り組めるように全体や学年で働きかけを行っていく。</li> </ul>
		2-2	交通ルール・マナーの向上	年4回の通学路の指導と、坂城駅の駅頭指導も定期的に行い、マナーの向上に努めた。				
		2-3	安心して学べる環境と集団作り	職員による校内の巡視指導の実施と、校舎内外の清掃活動による環境美化の推進。				
		2-4	個々の生徒に応じた指導態勢作り	特別支援教育に関する職員研修の実施。特別な支援を要する生徒の就労支援の体制づくり。				
3	生徒1人1人が自己を見つめ、力を発揮できる学校づくり	3-1	HR・行事を通じた人間形成、集団作り	修学旅行で「民泊体験」を取り入れ、コミュニケーション力の育成に成果があった。	2.9	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団生活の中でコミュニケーション力を育てる取り組みは充実しており、生徒会や修学旅行などでよい成果を上げている。</li> <li>クラブ活動には指導者の充実を計ることも必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、校外学習や生徒会をととしてのコミュニケーション力や地域との共同の場を確保し生徒の人間形成を計っていく。</li> <li>地元中学のクラブ活動との連携を働きかける。</li> </ul>
		3-2	生徒会活動を通じた人間形成、集団作り	保育園はじめ坂城町や坂城中学校との交流を通じて、地域に関わった活動ができた。				
		3-3	クラブ活動を通じた人間形成、集団作り	活発に行われているクラブ活動も一部あるが、全体として加入率が低く、検討課題となっている。				
4	保護者・地域に信頼される学校づくり	4-1	PTA活動・同窓会の充実	PTAの研修会を3度行っているが、参加率が低い。「進路」の研修へのニーズは高いので、参加しやすい形態を考えて行く必要がある。	2.7	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者はおおむね学校へ信頼を寄せており、生徒会の各種活動によって地域との連携も評価できる。</li> <li>しかし、さらにPRにつとめる必要があり、そのためにも2の服装・マナーのいっそうの指導が望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域の方々へ学校の様子を知っていただく機会や方法が限られており、具体的な方法を増やすように計る。</li> </ul>
		4-2	地域や教育機関との連携強化	1学年の総合学習で、「環境学習」の講義・実習を校内と長野大学で行い、連携を強めた。坂城町との各種の連携も一層深まっている。				
		4-3	授業公開の充実	5月・11月に公開授業を実施し保護者・中学生が参観した。1月に4名の教員が中学校で出前授業を実施した。				
		4-4	学校評価制度の利用	生徒・保護者アンケートの形式を改善し、毎日の授業や指導の改善に生かした。				

評点は次のように四段階（五段階）で実施したものの平均値

4 十分満足 3 やや満足 2 やや不足 1 不十分

自己評価は1 - 5の五段階評価で実施し、関係者評価にあわせて平均値を4/5したもの（次年度からは統一する予定）